

hP53-mAb (Pab122)

Anti-Human P53 Monoclonal Antibody clone Pab122
抗ヒトP53モノクローナル抗体 (Pab122)

本製品は、組換えヒトp53 タンパク質をマウスに免疫後、マウスの脾臓細胞とマウスミエローマ細胞を融合して得られたハイブリドーマを無血清培養し、培養上清からProteinGによりアフィニティ精製したものです。

p53は、転写因子として働き、染色体損傷を受けた細胞内での細胞周期進行の停止を制御（遺伝子修復酵素の活性化・アポトーシス誘導能）します。p53 遺伝子に点変異が生じると機能を失い、様々な腫瘍の原因となります。一般的には、癌化した細胞ではp53 濃度が5-1,000倍に上昇します。これは変異型p53 の半減期が野生型に比べて長い（20分→4時間）ことに起因します。P53 は核に局在しますが、変異型の場合では細胞質と核に分散して存在することもあります。

血中抗p53 自己抗体とp53 遺伝子の変異には、相関があるとの報告があります。P53 遺伝子の変異と初期癌の有無に相関があることから、血中抗p53抗体は臨床検査に利用されています。

製品名	製品番号	サイズ	価格 (税込)
Anti-Human P53 mAb clone Pab122	47004000	100 µg	¥55,000

※本製品はライセンス契約に基づき弊社が製造・販売するものです。

※バルク注文については営業所、ホームページまでお問い合わせ下さい。

※本品は研究用試薬であり、医薬品では御座いません。

製品仕様

サブクラス	マウスIgG _{2b}
交差性	ヒトのみ確認しております
エピートープ	p53タンパク質 C 末端領域
製品形態	精製抗体/PBS(-)溶液
保存条件	冷凍 (-70℃以下)
濃度	0.8-1.2 mg/mL (Abs. 280 nm換算)
純度	≥ 90% (SDS-PAGE)
品質規格	IHCで反応性を確認しています。
容量	100 µg

※本製品はロット毎に製品仕様項目を品質確認済みです。



Support for Cancer Research オリエンタル酵母の研究用試薬・抗体

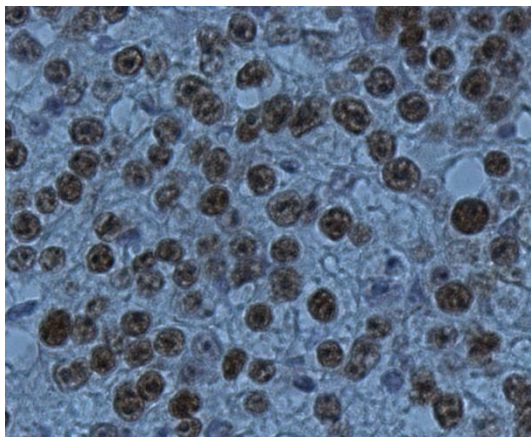


Fig. 1A

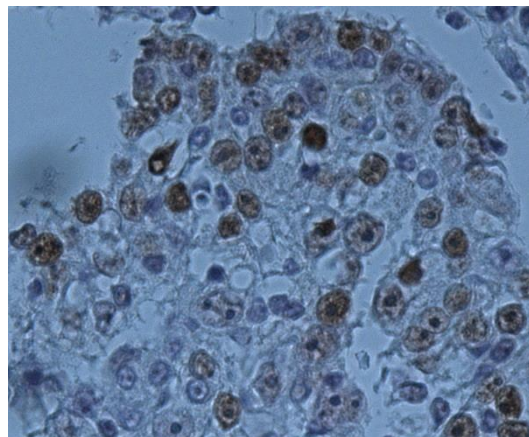


Fig. 2B

Fig.1 (A, B) 乳癌組織(パラフィン切片)免疫染色 中拡大像
癌部の細胞において、核に特異的に染色が観察された。
その他の部分への非特異的染色はなかった。

(写真提供:市立奈良病院 病理部 今井俊介先生)

参考文献

1. Bartek et al., Oncogene, 5: 893, (1990)
2. Shimada H. et al., Cancer 97, 682 (2003)
3. Hollstein et al., Science, 253: 49, (1991)
4. Lane,D.P., Nature, 358: 15, (1992)

お客様窓口

お問い合わせやご注文は下記からお願いいたします。

Webサイト: <https://www.oyc.co.jp/bio/>

製品に関するお問い合わせ: バイオ事業本部
Tel 03-3968-1192
Fax 03-3968-4863

Webサイトは
こちらから!



営業部及び販売会社

東日本バイオ営業部	Tel 03-3968-1163	Fax 03-3968-1196
東日本バイオ営業部 札幌支所	Tel 011-261-6591	Fax 011-222-0755
東日本バイオ営業部 つくば支所	Tel 029-858-0115	Fax 029-858-2931
西日本バイオ営業部	Tel 06-6338-1095	Fax 06-6384-7692
(株)オリエンタルバイオサービス	Tel 075-322-1177	Fax 075-322-0232
(株)ケービーティーオリエンタル	Tel 0942-81-2400	Fax 0942-81-2401



オリエンタル酵母工業株式会社